

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会
2018年度（平成30年）定時社員総会議事録

開催日時： 2018年（平成30）年6月16日 14時30分～15時00分

開催場所： 文京区民センター 3階 会議室C
（東京都文京区本郷4-15-14）

出席社員： 13名（評議員4名、役員9名）、はがきによる議決権行使111名

出席役員： 康 東天理事長、横田浩充副理事長、久谷直人理事、澤部祐司理事、
通山 薫理事、萱場広之理事、日高 洋理事、村上正巳監事、白井秀明監事

欠席役員： 和田隆志理事、萩原三千男理事、柏森裕三監事

議事録作成者：白井秀明監事

冒頭、定款第28条に従って本定時社員総会の議長を担当する康 東天理事長より、式次第に従い下記のような開会の挨拶があった。

忙しい所、本定時社員総会にご出席頂き有難うございます。日頃より皆さまのご協力により会務が滞りなく遂行できています。理事長も3年目で残り1年となりますが、本定時社員総会で皆さまのご意見を聞き、会務を務めて行きたいと考えていますので、よろしくお祈りします。

本定時社員総会の出席者数が康 東天理事長より以下のような報告された。
社員総数164名中、出席者総数13名（社員4名、役員9名）、はがきによる議決権行使111名の合計124名（77%）の出席により、定款第30条に基づき本定時社員総会の成立が宣言された。

引き続き、横田副理事長から議事録署名人として三浦ひとみ社員と吉田博社員の推薦があり選出された。

1. 議事

(1) 第1号議案（2017年度（平成29年）決算報告）

澤部祐司会計担当理事より、（第1号議案）貸借対照表、正味財産増減計算書および財産目録が提示された。次に、定時社員総会に例年提示している形式の平成29年度収支計算書を用いて法人規定に則って説明がなされた。

続いて、白井秀明監事により、平成30年5月31日、6月5日、6月8日に実施した監査結果が報告された。

その後、質疑は無く全員一致で承認された。

(2) 第2号議案（新規社員（評議員）選出）

横田浩充副理事長より、当学会細則第18条の評議員の選出及び再任に沿って理事会にて審議を行なった結果、高橋 聡（札幌医科大学）、前田士朗（琉球大学）、山崎浩和（山梨大学）、中江健市（近畿大学）、青木留美子（日本大学）、古川泰司（帝京大学）の6名を評議員に選任することが提案された。

その後、質疑は無く全員一致で承認された。

(3) 第3号議案（新規功労会員の選出）

横田浩充副理事長より、当学会細則第 10 条の名誉会員及び功労会員の称号に沿って理事会にて審議を行なった結果、宇治義則先生、飯塚儀明先生の 2 名を功労会員に選任することが提案された。

その後、質疑は無く全員一致で承認された。

2. 報告

(1) 第 1 号報告 (2017 年度 (平成 29 年) 事業報告)

横田浩充副理事長より、「第 1 号報告」に基づいて 2017 年度 (平成 29 年) 事業報告がされた。

(2) 第 2 号報告 (2020 年度 (平成 32 年) 第 34 回春季セミナー例会長について)

康 東天理事長より、「第 2 号報告」に基づいて第 34 回春季セミナーを前田士朗先生 (琉球大学 大学院医学研究科 先進ゲノム検査医学講座) のもと開催されることが報告された。

(3) 第 3 号報告 (2020 年度 (平成 32 年) 第 52 回大会長について)

康 東天理事長より、「第 3 号報告」に基づいて第 52 回大会大会長を横田浩充先生 (東邦大学理学部教育開発センター臨床検査課程) のもと開催されることが報告された。

(4) 第 4 号報告 (2018 年度 (平成 30 年) 論文賞受賞者報告)

萱場広之論文賞選定委員会委員長より、「第 4 号報告」に基づいて、「化学発光酵素免疫測定装置 (CLEIA) によるインスリン測定法の評価とインスリン製剤に対する反応性について他法との比較」戸來 孝先生 (虎ノ門病院)、「外来患者への採血業務改善のための採血難易度と採血技術レベルのマッチング」秋永 理恵先生 (飯塚病院) の 2 編を第 25 回論文賞候補に選定した報告がされた。

(5) 第 5 号報告 (2018 年度 (平成 30 年) 会員数報告)

横田浩充副理事長より、「第 5 号報告」に基づいて報告された。

メ谷直人理事より、2018 年の会費納入者数が 1,769 名となっているが、会計的に運営は大丈夫かと質問あり。年度途中(5 月 24 日現在)のため例年の納入状況と変わらない。また、最終的には例年通り 2,000 名強の会費納入者となる見込みであることが石川事務員より報告された。

3. 本年度大会 (第 50 回) について

第 50 回大会長の通山 薫大会長より、日程および企画内容等について以下の報告がなされた。

2018 年 10 月 11 日 (木) ~13 日 (土)、神戸国際会議場にて「臨床検査自動化 50 年 —あらたな飛躍へ」のテーマで開催すべく鋭意準備中である旨の説明と 300 程の一般演題が集まったお礼が述べられた。本大会は 50 回の記念大会でもあり、多数の参加者を期待していることと JACLaS との合同交流会参加への呼びかけがあった。

4. 2019 年度 (平成 31 年) 春季セミナー (第 33 回) について

第 33 回春季セミナー大会長の高橋 聡先生欠席のため、康 東天理事長より開催の案内があった。2019 年 4 月 27 日 (土) ホテルライフオー ト札幌にて開催される。

5. 2019 年度 (平成 31 年) 大会 (第 51 回) について

第 51 回大会長の宮地勇人先生欠席のため、康 東天理事長より開催の案内があつ

た。2019年10月3日(木)～5日(土)パシフィコ横浜にて開催の案内があった。

6. その他

- (1) 第51回大会が日本臨床検査医学会関東甲信越支部総会と開催時期が一部重なっているため、共催できるよう相互間で調整中であることが、吉田 博社員より報告された。
- (2) 康 東天理事長より、自動化学会の開催は横浜(3年)と4年に1回神戸で開催されることが決まっている。さらに春季セミナーが1年に1回各地域で開催されているが、自動化の活動を活発にするために各地区でシンポジウムやセミナーの開催を実施したいと考えている。昨年12月に、人工知能に関するシンポジウム(市民講座)を東大で開催している。本年度は、萱場広之理事にお願いして東北・北海道地区において開催する方向で計画している。各地区における活動を行ないたいと考えているので、会員の皆さまからご意見や提案を頂きたいとの発言があった。

7. 閉会挨拶

康 東天理事長より、2018年度定時社員総会の閉会が告げられた。


以上

上記決議を明確にするため、本議事録を作成し、議長および議事録署名人が次に記名押印する。

2018年 8月 5 日

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会

議長 康 東天 

議事録署名人 吉田 博 

議事録署名人 三浦ひとし 